

城田中 学校だより <卒業式版>

令和 2.3.13 発行 伊勢市立城田中学校 校長 TEL.25-5978

☆☆☆ご卒業、おめでとうございませす☆☆☆

3年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございませす。保護者の皆様には、この3年間、城田中学校の教育活動に、ご理解、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

第57回城田中学校卒業証書授与式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓、在校生の参列が無く、時間を短縮して挙行されました。市内全中学校で統一した、子どもの安全を考えた対応であることに、ご理解をお願いいたします。授与の様子につきましては、個人写真を配布いたします。また、学校長の式辞を掲載させていただきます。

<学校長式辞>

六十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませす。

保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございませす。

第57回城田中学校卒業証書授与式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓、在校生の参列がありません。市内の全ての中学校は、できるだけ時間を短縮して、行うことになってまいりました。

このような卒業式は、今までにありませんでした。少し寂しい気持ちもありますが、遂に、皆さんにとって、一生涯、忘れることのない、卒業式だと思います。

今までに無かった、初めての形式の卒業式ですが、卒業生の皆さんのこの一年を振り返ってみると、初めての取り組みが沢山ありました。玉城わかば学園との学校間交流、体育祭での「とこわかダンス」、地域の皆さんと合同で実施した、防災訓練。初めての活動にも、果敢に取り組むことができた、皆さんの集大成が、この卒業式だと思います。

さて、卒業にあたって、皆さんにお話しすることは、城田中学校の三つのスローガンのうち、「思いやりと感謝の心を持つ」です。卒業する皆さんにとって、これからの時代に、特に大切にしたいことです。

「思いやりと感謝の心」を持って、「一隅(小さな片隅)を照らす人」になってもらいたいと思います。ICT(情報通信技術)が、目覚ましく発展するグローバルな社会において、街の片隅にいても、自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人こそ、何物にも代えがたいものです。卒業する皆さんは、それぞれ、違った道を歩んでいきます。色んな夢を持っていると思います。しかし、大切なのは、一人ひとりが、それぞれの場所で、自分の持てる力を尽くすことです。そうすることで、社会全体が、明るく照らされていきます。「人の心の痛みが、わかる人」「人の喜びを、素直に喜べる人」「人に対して優しさや思いやりが持てる、心豊かな人」このような人こそ、これからの社会に、本当に必要な存在です。「思いやりと感謝の心」を持って、「一隅を照らす人」になって欲しいと思います。

最後に、花向けの言葉として、「雲の後ろには、太陽がいつも輝いている」を贈ります。この言葉は、アメリカの詩人ヘンリー・ワーズワース・ロングフェローの言葉です。今日の卒業式のように、人生は、晴れた日ばかりではありません。しかし、そんな日も、雲が晴れば、いつも変わらない、太陽の明るい光が、輝いています。辛い場面や壁に当たったとしても、その先には、希望に満ちた輝く太陽があることを忘れないでください。

君たちの前途に開ける「未来」に、期待と想いを馳せながら、私の式辞とします。